

# ひまわりプロジェクト

## ひまわり感謝祭報告

### ◆メインイベント 「地域間交流フォーラム」

十二月十二日に福島市内のA・O・Zで開催された「二〇一五ひまわり感謝祭&共に生きる仲間たちのコンサート」。様々な企画が目白押しイベントとなり、当日は関係者を含めおよそ千人が会場へと足を運んだ。

今回のメインイベントは、視聴覚室にて行われた「ひまわりプロジェクト地域間交流フォーラム」である。各地のひまわり栽培協力者が集い、岡山県笠岡市「ひまわりプロジェクト」の竹原泉氏による基調報告の後、パネラーを交えてのパネルディスカッションが行われた。パネラーは、神奈川県

鎌倉市の「未来・連福プロジェクト」齊藤美代子氏、北海道南幌町の「佐藤農場」佐藤正一氏、「子どもひまわり大使」の油井沙苗絵氏の三名。

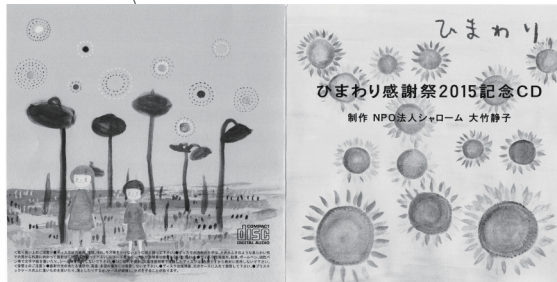
「ひまわりが繋ぐ地域間交流の成果と課題」というテーマのもと、ひまわりプロジェクトの意義を考えながら、各地の現状や課題などを共有した。更に会場の声も交えながら、ひまわりプロジェクトをどのように継続・発展させていくかについて議論し、非常に有意義な時間となった。

### ◆共に生きる仲間たちのコンサート

多目的ホールで行われた「共に生きる仲間たちのコンサート」は、今回で十九回目を迎える。今年も二部構成で行われ、第一部はゲストコンサートとして北海道のなおこBANDが演奏を披露した。琴、ギター、アフリカの太鼓ジャンベという独特の組み合わせその中の一曲「ひまわり」は、ひまわり栽培協力者でもあるなおこBANDがひまわりプロジェクトをイメージして作成した曲だ。今回はこの曲も収録されている「ひまわり感謝祭二〇一五記念CD」の披露会が行われ、プロモーションビデオが上映された。

第二部の仲間たちのオンステージでは、福島市民や

障がいをもつ仲間たちによる合奏や歌で会場が盛り上がった。中には、出演者の元気いっぱい、懸命な姿に感動したという声も聞かれた。コンサートの最後には、福島市飯坂にある町田三味線店の町田敏弘氏が、三味線とトランペットで和洋の数曲を披露した。海外でも演奏をしている町田氏の演奏に、会場全体が魅了されていた。



ひまわり 作詞・作曲 なおこ BAND

ほほ笑むあなたを  
防風林を透かして  
ひまわりひまわり  
ひまわりひまわり

写真におさめる  
いま、日は沈む  
うまれたての心  
きみとの夏 ラララ……

ふりつづく雨に打たれ  
うたう声は途切れず  
ひまわりひまわり  
ひまわりひまわり

まっげが濡れてる  
あらしの中でも  
まっすぐな心に  
虹たつ夕暮れ

夏が果てる風の中  
夏が果てる風の中  
母の姿にも似て

うなだれ背を丸め  
うなだれ背を丸め

ひまわりひまわり  
ひまわりひまわり

与えつづけそして  
やさしい影

夏が果てる風の中  
うなだれ背を丸め  
夏が果てる風の中……

### ◆子どもたちによる発表・交流も

小活動室一では、シャローム災害支援センターのプログラム支援に参加した子どもたちと、子どもひまわり大使との交流発表会が行われた。それぞれの赴いた先で体験したことや、その感想などを発表し合い、子どもたちは互いの訪問先へ興味を抱いているようだった。同じく小活動室一にはシャローム活動展示の他、栽培協力者から寄せられた活動報告展示やひまわり大使活動報告展示、市内外NPO・市民団体活動展示が行われ、その展示に囲まれながらの発表となった。また、子どもたちに向けたお花のバルーンアートや紙ひこうき作り体験も行われ、一般の子どもの他、子どもひまわり大使やフランス保養の子どもたちも楽しんで参加していたようだ。

小活動室二では福島県内外の施設やNPOによる製品の展示即売会が行われた。パンやクッキーなどのおいしい食品の他、手作りの布製品や木工製品などが並び、各ブースは大盛況の様子だった。

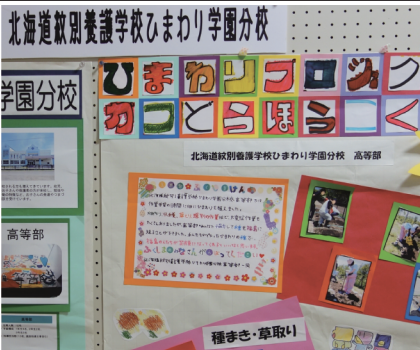
毎年感謝祭には福島市内の学生がボランティアとして駆けつけているが、今年は六〇名もの学生ボランティアが集まった。

た。販売ブース係や展示ブース係、託児係などの役割があるが、今回のボランティアを通して様々な人々とふれあえたことや、多くの学びがあったことを喜ぶ声が聞こえた。

今年度のひまわり感謝祭も、沢山の人の協力の上で盛会のうちに終えることができた。地域間交流フォーラムをはじめ、今回の感謝祭を通して、人と人が思いやりや分かち合いなどの柔らかく暖かい心で繋がっていくことが非常に重要であることを再認識したように思う。

これまでもひまわりを通して全国と繋がってきたが、今後はより一層その心を意識し、未永い縁としていきたい。そしてその繋がりが、全国各地が抱えた社会問題をゆるやかに解決していくような一端となることを願っている。(Y・K)

▲全国各地の協力者さんによる栽培の記録、どれも心こもって書いて感動します。



▲仲間たちのオンステージ。歌とダンスで盛り上がりました



▲今年も多くのボランティアさんに支えられて無事に開催できました